

■ HRD FINE ART 展覧会開催のご案内 ■

## GOLD EXPERIENCE 3 ～ メタリεύジョン

日韓現代金箔絵画・京都鞍馬口編

会場：HRDファインアート

(京都市上京区上御霊豎町494-1)

会期：2024年 5月11日(土)～ 7月6日(土)

時間：木曜日 11:00～15:00

金・土曜日 11:00～19:00

休廊：日～水曜日(事前のアポイントにより観覧可能)

出品作家：パク・ヒョンジュ、ソン・ジュントク、イ・ミヨン、パク・ボナ(以上 韓国)

白河ノリヨリ、安喜万佐子、木村了子、七篠奈津美(以上 日本)

オープニングレセプション：5月11日(土) 18:00～

### 【展覧会概要】

HRDファインアートでは、5月11日から7月6日までの会期で「GOLD EXPERIENCE 3 ～ メタリεύジョン：日韓現代金箔絵画・京都鞍馬口編」と題したグループ展を開催します。日本4名、韓国4名、総勢8名のアーティストによる国際交流展となります。

HRDファインアートは、2010年に韓国・ソウルにて「GOLD EXPERIENCE ～ 日韓現代金箔絵画」と、また2012年には愛知にて「GOLD EXPERIENCE 2 ～ 金鯨によせて」を企画開催しました。今回の展覧会「GOLD EXPERIENCE 3 ～ メタリεύジョン」は、10年以上の時を経た第3弾として、「金箔・金属箔」を用いた絵画表現に取り組む日本と韓国のアーティストを再び紹介する展覧会となります。

出品作家は、日本から白河ノリヨリ、安喜万佐子、木村了子、七篠奈津美の4名、韓国からパク・ヒョンジュ、ソン・ジュントク、イ・ミヨン、パク・ボナの4名で、それぞれに主題やテーマも、また箔を用いる技法も異なります。

金箔を使った絵画表現は、西洋・東洋いずれにおいても、古代・中世からの長く豊かな歴史を持っています。西洋においてはテンペラ技法を用いた聖像画・イコン、モザイク壁画などにおいて、また東洋においては障壁画や扇面画などにおいて、それぞれの美学や美的感覚、また宗教や哲学を背景として、技術・技法を発展させてきました。近代ヨーロッパでは19世紀末にジャポニスムの一部として金箔を用いた表現が取り込まれ、また東洋ではキリスト教布教のために黄金背景のイコンが大きな役割を果たすなど、東西文化のクロスオーバーを象徴する事物として捉えられる側面もあります。

絵画の背景をなす脇役として捉えられることも多い素材ですが、あるときは宗教的な荘厳さを示すために、また無限の空間を表出するため、またあるいは所有者の威光や権力を誇示するために、金箔が果たしてきた積極的な役割は決して見過ごすことはできません。

本展の副題「メタリュージョン」は、金属（メタル）の輝きや光を絵画に取り入れることによって生まれる錯覚（イリュージョン）や隠喩（アルージョン）、暗喩（メタファー）、様々な絵画技法や文化的背景の融合（フュージョン）、絵画における超越性（メタ）などを表現した造語です。

金箔・金属箔を用いた絵画の多様・多彩な表現を通じて、絵画の歴史と未来に目を向けるとともに、日本と韓国の美術を通じた交流の一端を担うことも企図した展覧会となります。ぜひご高覧ください。

\* \* \*

#### **【GOLD EXPERIENCE 過去の展覧会】**

- ・「GOLD EXPERIENCE ～ 日韓現代金箔絵画」

会場：HYUN GALLERY（ソウル）

会期：2010年5月20日～6月6日

出品作家：木村了子、白河ノリヨリ、安喜万佐子、  
イ・チオン、ソン・ジュンドク、パク・ヒョンジュ

<http://hrdfineart.com/exb-gold10.html>

- ・「GOLD EXPERIENCE 2 ～ 金鯨によせて」

第1会場：愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（名古屋）

会期：2012年3月9日～18日

第2会場：旧竹内邸・常懐荘（小牧）

会期：2012年3月10日・11日

出品作家：ハン・ホ、木村了子、イ・チオン、野口琢郎、パク・ヒョンジュ、  
白河ノリヨリ、安喜万佐子（+林ケイタ）

<http://hrdfineart.com/exb-gold2nagoya12.html>

【展示作品・参考作品】



木村 了子 《幸福の初夢》  
紙本着色金彩（二曲一双屏風） 60.5×180cm 2016年



ク・ボナ 《Co-evolution 2》  
インク、顔料、金泥、銀泥／韓紙（コラージュ） 96.5×66cm 2022年





イ・ミヨン 《Memento》  
金箔、顔料／韓紙 60×60cm 2023年

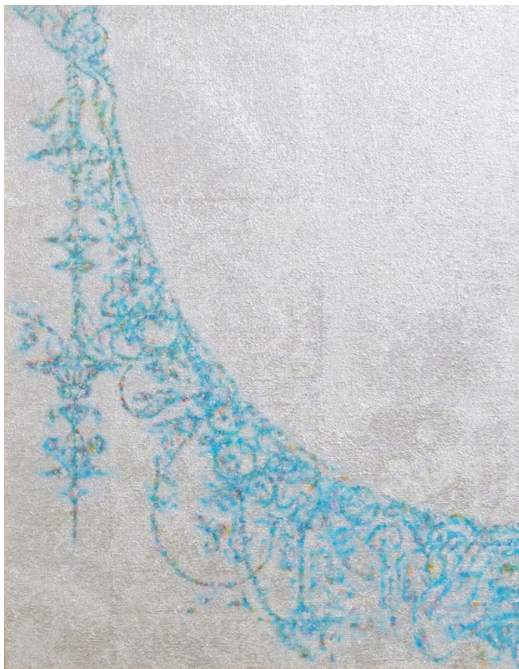


七篠 奈津美 《good blue (よだかの星)》  
油彩、テンペラ、アルミ箔／キャンバス 72.7×72.7cm 2024年





パク・ヒョンジュ 《Light Between》  
顔料、金箔／キャンバス 65.1×53cm 2022年



白河 ノリヨリ 《V-C-Light-2022》  
アルミ箔、テンペラ、油彩／白亜地キャンバス 40.9×31.8cm 2022年



ソン・ジュントク 《Space for Reminiscence》

テンペラ、金箔/木 12.5×12.5cm 2022年



安喜 万佐子 《松岡（沈黙の水鏡）》

金箔、顔料/木製パネル、麻布、ボローニャ石膏 90×50cm 2022年

## 【作家略歴 ①】

木村 了子

Ryoko KIMURA

1971 京都生まれ

1997 東京芸術大学院修士課程壁画専攻修了

現在、東京在住

### 主な個展

- 1997 「半地下多目的スペース」リュ・プラス／モリスギャラリー付属（東京）
- 2002 「木村了子展」スパンアートギャラリー（東京）
- 2003 「女性上位時代」ヴァニラ画廊（東京）
- 2004 「ステンドグラス浪漫」そごう神戸本店アートギャラリー（東京）他
- 2005 「Beauty of my Dish. - 私の男体盛り料理」スパンアートギャラリー（東京）
- 2008 「Prince Come True」旧ギャラリーエス（東京）／布查藝術空間（台北）
- 2009 「Born to be wild 目覚めろ、野性！」三瀧画廊（北京）／布查藝術空間（台北）
- 2010 「木村了子式 婚活 DATE♥双六」KIDOPRESS Inc.（東京）
- 2011 「LA FASCINATION DES BEAUX HOMMES-美男礼賛」Galerie Vanessa Rau（パリ）
- 2011 「楽園」ミヅマ・アクション（東京）
- 2013 「Ma Petite Aventure-王子さまをみつけに-」金沢アートグミ（金沢）
- 2014 「Beauté Animale de L'Homme -花鳥風月美男」Galerie Vanessa Rau（パリ）
- 2014 「化身 -Be your animal」TORAUMARIS（東京）
- 2016 「お伽噺 - Ikemen Märchen」The Art Complex Center of Tokyo（東京）
- 2018 「多情仏心」京都場（京都）
- 2019 「国上寺本堂壁画披露 イケメン偉人官能絵巻」国上寺（新潟県燕市）
- 2020 「水と黒」山崎文庫（東京）
- 2021 「楽園」DUB GALLERY AKIHABARA（東京）

### 主なグループ展

- 2002 「第1回ステンドグラス美術展」名古屋松坂屋美術館（名古屋）
- 2003 「NICAF 8th 関連企画展 アート&ジェネレーションズ 展」スパンアートギャラリー（東京）
- 2004 「東京芸大のガラス作家たち」東京芸術大学陳列館（東京）
- 2005 「伊藤晴雨とその系譜展」ヴァニラ画廊（東京）
- 2006 「眼差しと好奇心 展」ミヅマ・アクション（東京）
- 「3人の画家展」兜屋画廊（東京）



- 2007 「美男画展」ぎやらりい朋（東京）
- 2010 「Le Japon Vintage et Contemporain」 Galerie Vanessa Rau（パリ）  
 「GOLD EXPERIENCE～日韓現代金箔絵画」 Hyun Gallery（ソウル）  
 「第六届 漢字文化節 漢字弄潮 當代藝術展」中正記念館（台北）
- 2011 「観◎光展」元離宮二条城（京都）  
 「激凸展」Unseal Contemporary（東京）
- 2012 「GOLD EXPERIENCE2 日韓現代金箔絵画展」愛知芸術大学サテライトギャラリー
- 2013 「種田陽平による三谷幸喜の世界観」上野の森美術館（東京）  
 「絆 - Japanische Künstlerinnen zur Lage der Zeit」MICHEKO GALERIE（ミュンヘン）  
 「画賊と東京みやげ」ブックギャラリーポポタム（東京）  
 「溶ける魚-つづきの現実」京都精華大学ギャラリーフローラ/Gallery PARC（京都）  
 「真っ暗闇の大物産展～胎内巡りと画賊たち」京都伝統工芸館（京都）
- 2014 「ZAUBERBOX 玉手箱」MICHEKO GALERIE ミュンヘン）  
 「仮想のコミュニティ・アジア」（黄金町バザール/横浜トリエンナーレ関連企画）（横浜）  
 「Impacts! 勢み! Japan Art Festival」Zane Bennett Contemporary Art（サンタフェ）  
 「Changwon Asian Art Festival」（韓国・チャンウォン）  
 「KAKEMONO」Galerie Vanessa Rau（パリ）  
 「ワンダーフェスティバル」幕張メッセ（東京）
- 2015 「美夢 - Beautiful Dream」布查藝術空間（台北）  
 「造形人間 for humans」みうらじろうギャラリー（東京）
- 2016-17 「西遊誌 - Asian Contemporary Scene Part I」芸倉美術館（上海）
- 2016-17 「今様 - IMAYŌ: JAPAN'S NEW TRADITIONISTS」ホノルル美術館（ホノルル）/ハワイ  
 大学マノア校（ホノルル）/松濤美術館（東京）
- 2019 「未景 2019」泉涌寺（京都）  
 「Eyes & Curiosity—Flowers in the Field」Mizuma Gallery（シンガポール）
- 2019-20 「数寄景/NEW VIEW 日本を継ぐ、現代アートのいま」（大阪/福岡/東京）
- 2020 「尻博 2020」DUB GALLERY AKIHABARA（東京）  
 「天覧美術」KUNST ARZT（京都）/eitoeiko（東京）
- 2021 「フェミニズムス / FEMINISMS」金沢 21 世紀美術館（金沢）
- 2021 「美男におわす」埼玉県立近代美術館（さいたま）/島根県立石見美術館（益田）
- 2022 「日本画のゆくえ」栃木県立美術館（宇都宮）

## 作品収蔵

- 栃木県立美術館（宇都宮）  
 スペンサー美術館（米国・ローレンス）  
 ホノルル美術館（米国・ホノルル）

## 【作家略歴 ②】

ク・ボナ

**Bona KOO**

1976 ソウル生まれ

2010 弘益（ホンイク）大学大学院美術研究科博士課程修了

現在、韓国・インチョン在住

### 主な個展

- 2002 「Sunflower」 Dukwon Museum of Art（ソウル）
- 2005 Forum Gallery（ドイツ・ヴィースバーデン）
- 2007 「Ancient Future」 弘益大学現代美術館（ソウル）
- 2009 「Luminous Landscape」 Insa Art Center（ソウル）  
「Color of Memory」 Korean Culture Center（パリ）
- 2011 「Oasis」 Kang-rung Museum（韓国・カンヌン）
- 2012 「KOOISM」 Shun Art Gallery（上海）
- 2014 「無爲而無不爲」 朝代画廊（台北）
- 2015 「生命之輪」 Taipei World Trade Center（台北）
- 2016 「Teeth of Time」 仁川アートプラットフォーム（インチョン）
- 2017 「The beginning and end of so many things」 Our museum  
「Teeth of Time」 Sim Yeo Gallery（ソウル）
- 2019 「遺韻 風景 / Wreck Scenery」 朝代画廊（台北）
- 2022 「Co-Evolution」 Bohyemiahn Gallery（ソウル）
- 2023 「White Walls, Black Doors」 仁川アートプラットフォーム（インチョン）  
「White Night」 OCI 美術館（ソウル）

### 主な個展

- 2000 「Meditation in a Box-Man and Nature」 Seoul Art Center Gongpyeong Gallery（ソウル）
- 2004 「富山水墨トリエンナーレ」 富山県水墨美術館（富山）
- 2007 「Hello Chelsea! 2007」 PS 35 Gallery（ニューヨーク）
- 2010 「Inner Strength」 Able Fine Art NY Gallery（ニューヨーク）
- 2011 「Mind of the Landscape」 ソウル市立美術館（ソウル）
- 2012 「八色居詞」 OCI 美術館（ソウル）  
「別★同行」 ポハン／ゲンサン／クァンヤン／ヨンジュ／ソウル  
「Earth's Banranjeon」 Urania Berlin／Korea Culture Center（ベルリン）

- 「BACK HWA NO BANG (白花怒放)」 楊平郡立美術館 (韓国・ヤンピョン)
- 2013 「12 Grounds」 Seoul Art Center Gongpyeong Gallery (ソウル)  
「観◎光」 泉涌寺 (京都)
- 2014 「Into the nature」 イロリムラ (大阪)
- 2016 「Expression of Heart and Apology of Positive」 Korean Cultural Service (モスクワ)  
BKV Museum (ポツダム)
- 2017 「Neo-eden Exhibition」 Suzhou Jinji Lake Museum (蘇州)  
「From 'Landscape' Landscape」 Danwon Museum of Art (韓国・アンサン)  
「Beyond Korean Paintings」 務安郡吳承雨美術館 (韓国・ムアン郡)
- 2018 「Three Walls and Two Doors」 Ilhye Museum of Art Uljiro Space (ソウル)  
「Space, Fill with Notion」 Korean Cultural Center (ロサンゼルス)
- 2019 「Time of Gap」 Ilhyun Museum of Art (韓国・ヤンヤン)
- 2020 「Beijing Ink Design Biennale」 (北京)
- 2021 「Imaginary Significant - From Line」 務安郡吳承雨美術館 (韓国・ムアン郡)
- 2023 「Jeon-nam Sumuk Biennale: Coloring Mountain, Stopped Water」 木浦文化芸術会館 (韓国・モッポ)

## 受賞

- 2010 「Goyang Cultural Foundation Award: Empathy」 高陽オウリムヌリアートセンター (韓国・ゴヤン)
- 2021 「Taiwan International Art Award」 桃園市立美術館 (台湾・桃園)

## 作品収蔵

- ソウル市立美術館 (ソウル)  
韓国国立現代美術館 (ソウル)  
OCI Museum (ソウル)  
仁川文化財団 (仁川)  
ソウル市  
務安郡吳承雨美術館 (韓国・ムアン郡)

## アーティスト・イン・レジデンス

- 2021 NJF Residency Studio (パジュ)
- 2020 OCI Museum of Art R1211 Residency (ソウル)
- 2012 仁川アートプラットフォーム アーティストレジデンシー (インチョン)
- 2011 Song Am Arts & Culture Foundation OCI Museum Residency Program (ソウル)
- 2006 韓国国立現代美術館高陽スタジオ (韓国・ゴヤン)



### 【作家略歴 ③】

イ・ミヨン

Miyeon LEE

1984 ソウル生まれ

2024 京畿大学大学院博士課程修了

現在、スウォン在住

### 主な個展

- 2010 「Welcome to Mimi's House」 Gana Art Space (ソウル)
- 2011 「Selected Emerging Artist Support Program」 Gallery La Mer (ソウル)
- 2012 「ETHOS」 Gallery La Mer (ソウル)
- Gallery Joong (ソウル)
- 「Welcome to Mimi's House」 Ambrosia (ソウル)
- 2013 「Welcome to Mimi's House」 Gongpyeong Art Center (ソウル)
- 2014 「MANIF」 Seoul Arts Center (ソウル)
- 2016 「MANIF」 Seoul Arts Center (ソウル)
- 2021 「MEMENTO」 La Foret Gallery (韓国・スウォン)
- 2022 「MEMENTO」 La Foret Gallery (韓国・スウォン)
- 2023 「MEMENTO」 Pink Gallery (ソウル)
- 「MEMENTO」 La Foret Gallery (韓国・スウォン)
- 2024 「MEMENTO」 Reverse Gallery (韓国・クンサン)

### 主なグループ展

- 2012 「East Meets West Exhibition」 MOKSPACE (ロンドン)
- 「Supportment Gallery Selected Artist Exhibition」 Supportment Gallery (ソウル)
- 「Cheongjak Hwarang Gallery Selected Artist Exhibition - New Leap.」 Cheongjak Hwarang Gallery (ソウル)
- 「Emerging Artist Invitation Exhibition」 Samcheong Gallery (ソウル)
- 「Ail-Cultural Arts Sharing Center Opening Invitation Exhibition」 Ail-Cultural Arts Sharing Center ART is (ソウル)
- 「Good Choice Emerging Artist Exhibition」 Woolim Gallery (ソウル)
- 「Cheongjak Gallery Emerging Artist Competition Selection - Exclusive Artist Activity」 Cheongjak Gallery (ソウル)
- 「SOAF Young Artist Selection」 COEX (ソウル)

- 2023 「Suwon Cultural Foundation Selected Artist Soomunjang Art Fair」 Lotte Department Store (韓国・スウォン)
- 2024 「SOMA Museum of Art 20th Anniversary Drawing Special Exhibition」 SOMA 美術館 (ソウル)

### 作品収蔵

韓国国立現代美術館 政府美術銀行

## 【作家略歴 ④】

七篠 奈津美

Natsumi NANASHINO

1992 大阪生まれ

2023 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業

2023 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻入学

現在、東京在住

### 主な個展

2023 「わたしをほかんする」 ERICROSE (東京)

### 主なグループ展

2022 「small paintings」 gallery IRO (東京)

「Any kobe with Arts 超公募展」(神戸)

「gallery 美の舎 学生選抜展」 gallery 美の舎 (東京)

「100人10」東京ミッドタウン (東京)

「ARTAOTA」九条湯 (京都)

2023 「AQUART」 gallery & cafe AQUA (和歌山)

「small paintings」 gallery IRO (東京)

「いい芽ふくら芽 in Tokyo」大丸東京店 (東京)

「油絵学科8人展 わたしと鏡」カミカワハウス (東京)

「Currently Art」芝田町画廊 (大阪)

「武蔵野美術大学大学院企画選抜展 — 仕方がないのでお手紙書いた さっきの手紙のご用事なあと」 ena 美術ギャラリー (新宿)

2024 「challenge to abstract expression -抽象表現への挑戦- vol.2」芝田町画廊 (大阪)

### 受賞

2022 「第66回全日本学生美術展」推奨

「第3回 全日本芸術公募展」入選

「Any kobe with Arts」入選

「gallery 美の舎 学生選抜展」入選

「100人10 協賛企業賞」avex creative agency award



## 【作家略歴 ⑤】

パク・ヒョンジュ

Hyunjoo PARK

- 1968 ソウル生まれ  
1991 ソウル大学美術学部西洋画専攻卒業  
1993 ニューヨーク大学大学院修了（美術修士）  
2002 東京藝術大学大学院博士課程修了（美術）  
現在、ソウル在住

## 主な個展

- 1993 80 Washington Square Gallery（ニューヨーク）  
1994 Gallery Icon（ソウル）  
1997 ギャラリーQ（東京）  
1998 小林画廊（東京／2001 も）  
1999 Keumsan Gallery（ソウル／2013 も）  
2002 DNA - Die Neue Aktionsgalerie（ベルリン）  
ギャラリー風（大阪／2004 も）  
2003 Gallery In（ソウル）  
2005 Creclooart Gallery（フィラデルフィア）  
2006 SADI Window Gallery（ソウル）  
2008 Sun Contemporary（ソウル）  
2009 「Diagram of Light」 VIT Gallery（ソウル）  
2011 「Floating Light」 Kips Gallery（ニューヨーク）  
2014 「Accumulated Light」 ヨンウン現代美術館（京畿道クァンジュ）  
2015 「Light Monad」 Gallery Artside（ソウル）  
2016 「The Reason of Light」 Tenri Gallery（ニューヨーク）  
「Light/Relations」 HRD ファインアート（京都）  
2018 「Echo of Light, TongIn Auction Gallery（ソウル）  
2019 「Color into Light」 Gana Art Forum（ソウル）  
2020 「Spring- the Feast of Color」 Sueno（ソウル）  
2022 「INTO Light」 Gallery YEH（ソウル）

## 主なグループ展

- 2003 「Dancing Color」 Gallery Sang（ソウル）

- 「Square」 Keumsan Gallery (ソウル)
- 「Exploration of Light and Color」 ソウル・アーツ・センター (ソウル)
- 「Sense and Sensitivity」 プサン市立美術館 (プサン)
- 2004 「Joy of Contemplation」 Sun Gallery (ソウル)
- 「Over the Rainbow」 Space C (ソウル)
- 2005 「Beyond Artifice」 蚩尤金属工芸館 (ソウル)
- 「Art Camp in India」 (ムンバイ)
- 2006 「Korean Contemporary Artists 5」 Galley Kong (ソウル)
- 2007 「Infuse」 Gallery Velvet (ソウル)
- 2008 「Up to the Minute」 Korea Art Center (プサン)
- 2009 「Cultural Diversity in Korean Contemporary Art」 Sophia Art Gallery (ソウル)
- 「Sensitivity and Abstraction」 Cyart Gallery (ソウル)
- 2010 「S.A.I.C. - From Desire to the Sublime」 ホンイク大学美術館 (ソウル)
- 「Gold Experience - 日韓現代金箔絵画」 Hyun Gallery (ソウル)
- 2012 「Gold Experience 2 - 金鯨によせて」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー (名古屋) /  
旧竹内邸・常懐荘 (小牧)
- 「LAVIDA」 Space\*C Coreana Museum (ソウル)
- 「CAYAF - Contemporary Art & Young Artists Festival」 KINTEX (ゴヤン)
- 2014 「Color」 アラム美術館 (ゴヤン)
- 「Time & Sensibility」 Haeden Museum (インチョン)
- 2016 「Meaning of Light」 S+ Gallery Busan(プサン)/S+ Gallery Itaewon (ソウル)
- 「Craving Colors」 63 Art Museum (ソウル)
- 「Boundaries」 Gallery d'Arte (ニューヨーク)
- 「2016 Art Gyeonggi - Start Up」 パンギョテクノバレー (ソンナム)
- 2019 「Cheongju Craft Biennale」 (韓国・チョンジュ)
- 2020 「Seng-Dong」 AK Gallery (韓国・スウォン)

### アーティスト・イン・レジデンス

- 2005 ISCP インターナショナル・スタジオ・アンド・キュレトリアル・プログラム (ニューヨーク)
- 2006 Art Camp (ムンバイ)
- 2013-14 ヨンウン現代美術館アーティスト・イン・レジデンス (韓国・京畿道クァンジュ)

### 作品収蔵

- 韓国国立現代美術館 (クァチョン、ソウル)
- 東京藝術大学 (東京)
- デリム美術館 (ソウル)

## 【作家略歴 ⑥】

白河 ノリヨリ

Noriyori SHIRAKAWA

- 1969 東京生まれ
- 1993 東京藝術大学油画専攻卒業
- 1995 東京藝術大学大学院修了
- 現在、愛知在住

### 主な個展

- 1996 「L'ESPOIR 1996 白河宗利」銀座スルガ台画廊（東京）
- 1997 「白河宗利展」清月堂ギャラリー（東京）
- 1998 「NORIYORI SHIRAKAWA」清月堂ギャラリー（東京）
- 2004 「ココロノカタチ 白河宗利」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
- 2006 「布上のバルール」銀座ごらくギャラリー（東京）
- 2010 「布上のヒカリ」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
- 2017 「I.L.L.U of Blue」HRD ファインアート（京都）
- 2018 「Sense of Light ... Blue」ギャラリーくさ笛（名古屋）  
「First Seen - Blue」岡崎信用金庫資料館（岡崎）
- 2019 「likely blue」弥栄画廊（東京）  
「Blue Seen Through」Space O'NewWall Ejuheon（ソウル）
- 2022 「光と青の汽水」HRD ファインアート（京都）

### 主なグループ展

- 2000 「GROUP EXHIBITION」銀座井上画廊（東京）
- 2001 「ART FORM OF JAPAN」The Suan Dusit Art Gallery（バンコク）
- 2002 「三人展」長谷川空間創造会社（東京）  
「NEW TRADITIONAL ART」シルパコーン大学アートセンター（バンコク）  
「3 人展」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
- 2003 「葵の会」銀座スルガ台画廊（東京）（以降毎年）  
「FIELD OF NOW 形象改革」銀座洋協アートホール（東京）
- 2004 「洋画新世紀展」銀座洋協アートホール（東京）
- 2005 「TEN by 展 10×10・小さな宇宙」GALLERY ALPHA（名古屋）／他巡回
- 2006 「TOKI の風」渋谷西武美術画廊（東京）  
「CONNECT [Impression on Paper] 」シルパコーン大学アートセンター、バンコク



- 「LIONCEAUX 2006 - 現代洋画の俊英たち -」三越本店特選画廊（東京）（2007、08、09、10 も）
- 2007 「自画像の証言」東京芸術大学美術館陳列館（東京）
- 2009 「オクターヴ」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
- 2010 「GOLD EXPERIENCE」Hyun Gallery（ソウル）
- 2011 「十人十色」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
- 「LIONCEAUX PLUS - 華咲け現代洋画の俊英たち -」三越本店特選画廊（東京）（2012、13、14、15 も）
- 2012 「Building a Castle of Sand (or Breaking It) - 砂の城をつくること（あるいは壊すこと）-」Next Door Gallery（ソウル）
- 「FORMS IN FLUX」Grossman Gallery（ボストン）
- 「GOLD EXPERIENCE2 -金鯨によせて-」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（名古屋）  
／旧竹内邸・常懐荘（小牧）
- 「NORIYORI SHIRAKAWA+KUNIAKI YAMAMURA」ギャラリー旬（名古屋）
- 2013 「すくいとられたカタチ」名古屋ボストン美術館（名古屋）
- 2014 「CUBIC MUSEUM」シルパコーン大学アートセンター（バンコク）
- 2016 「技材変態」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（名古屋）
- 「物質としての絵画」瞻百堂ギャラリー（東京）
- 2017 「TM NETWORK」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（名古屋）
- 2018 「テーマは技材」ギャラリー・パリ（横浜）
- 2019 「SENSE EXISTENCE ESSENCE」Colon B Arts（ソウル）
- 2023 「白河ノリヨリ／キム・テヒョク：反射と浮遊の解剖学」Gallery Soyeun（ソウル）
- 「リフレイン Refrain」KUNST ARZT（京都）
- 2024 「Very Oriental Things」G Contemporary（ソウル）

## 【作家略歴 ⑦】

ソン・ジュントク

**Jungduk SONG**

- 1961 テグ生まれ
- 1985 弘益（ホンイク）大学大学院西洋画科修士課程修了
- 2003 東京芸術大学美術研究科油画研究室客員研究員
- 2009 東京芸術大学油画保存修復研究室客員研究員

### 主な個展

- 2004 青木画廊（東京）
- 2007 ギャラリー金輪（東京）
- 2013 Heesu Gallery（ソウル）
- 2015 Heesu Gallery（ソウル）
- 2016 Galerie Jin and Chiyo's（横浜）
- 2017 Galerie Jin and Chiyo's（横浜）
- 2019 Art Space H（ソウル）
- 2022 Pink Gallery（ソウル）
- 2023 Arehun Gallery（韓国・キョンジュ）

### 主なグループ展

- 2002 「ABSENCE」 Gallery Korea（ニューヨーク）
- 2004 「表層の内側 III 東京一大邱」東京芸術大学美術館陳列館（東京）／大邱市民会館（テグ）  
（05、06、07 も）  
「光化門国際アートフェスティバル」世宗文化会館（ソウル）
- 2005 「美術と数学の交感」サビナ美術館（ソウル）
- 2007 「絵画の見方」サビナ美術館（ソウル）  
「眼展」青木画廊（東京）
- 2008 「慶州文化エキスポ 100 人招待展」（韓国・キョンジュ）  
「上海特別企画招待展」（上海）
- 2009 「金輪国際現代美術展」ギャラリー金輪（東京）
- 2010 「Gold Experience - 日韓現代金箔絵画」Hyun Gallery（ソウル）

## 【作家略歴 ⑧】

安喜 万佐子

Masako YASUKI

- 1970 大阪生まれ  
 1994 京都精華大学大学院美術研究科修了  
 2015 米国スミス大学滞在研究員（文化庁新進芸術家海外派遣）  
 現在、京都在住

### 主な個展

- 1993 ギャラリー16（京都）  
 1995 「retina」ギャラリー16（京都）  
       「there」ギャラリー16（京都）  
 1997 「be」ギャラリー16（京都）  
 1998 「明るさの世界で見るために」ギャラリー16（京都）  
 1999 「Not Message but Presence」ギャラリー16（京都）  
 2000 「real/time」ギャラリエアンドウ（東京）  
 2001 「the presence between things」ギャラリー手（東京）  
       Sculpture Court Gallery at ECA（英国・エジンバラ）  
 2002 「Edinburgh Project」大阪府立現代美術センター（大阪）  
 2003 ベイスギャラリー（東京）  
 2005 「a ground」ギャラリー16（京都）  
       ギャラリー手（東京）  
 2006 キュービックギャラリー（大阪）  
       ギャラリー手（東京）  
 2009 「蒸発する時間／結晶した場面」ギャラリー16（京都）  
 2011 「Absence of Light - 歩行と逆光 -」ギャラリー16（京都）  
 2014 「風景 - LANDSCAPE SUICIDE」The Artcomplex Center of Tokyo Hall  
 2015 「白い影 / 三月の光」ギャラリー勇斎（奈良）  
       「光の趾音 - Light treading the ground -」ギャラリー16（京都）  
 2016 「影の足跡 - traces of the shadows -」アートスペース羅針盤（東京）  
       「時の海・光の輪郭」大和文華館・文華ホール（奈良）  
 2018 「shadow scape - forest west, lightning east」ギャラリー勇斎（奈良）  
       「暁の石 / 沈黙の水鏡」The Artcomplex Center of Tokyo Hall（東京）  
 2020 「Chaos from Order 〈時の庫〉」京都場

- 「Order from Chaos 〈明日の地層〉」 ギャラリー16 (京都)
- 2022 「時の海・明日の地層 - Sea of Time, Future Strata」 FEI ART MUSEUM YOKOHAMA (神奈川県)
- 2023 「光の行進 - うつされた時・うつされない像」 ギャラリー (京都)
- 「時の霧 - 近江景」 2kw ギャラリー (滋賀)

### 主なグループ展

- 1997 「絵画の方向 '97」 大阪府立現代美術センター (大阪)
- 1998 「絵画の方向 '98」 大阪府立現代美術センター (大阪)
- 1999 「VOCA 展 - 新しい平面の作家たち」 上野の森美術館 (東京)
- 2000 「京都市新鋭美術選抜展 2000」 京都市美術館 (京都)
- 「INCUBATION 00」 京都芸術センター (京都)
- 2001 「京都府美術工芸選抜展」 京都府京都文化博物館 (京都)
- 2002 「VOCA 展 - 新しい平面の作家たち」 上野の森美術館 (東京)
- 2004 「Confronting Tradition」 スミスカレッジ美術館 (米国・ノーサンプトン)
- 2005 「City\_net Asia」 ソウル市立美術館 (韓国)
- 2008 「Out of Sight, Still in Mind」 Gallery Hangil (韓国・パジュ)
- 2010 「GOLD EXPERIENCE」 Hyun Gallery (韓国・ソウル)
- 2011 「風景の逆照射 Inverse Perspective Project」 京都精華大学 Gallery Fleur (京都)
- 2013 「Collecting Art of Asia」 スミスカレッジ美術館 (米国・ノーサンプトン)
- 「GOLD EXPERIENCE 2」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー (名古屋) / 旧竹内邸・常懐荘 (小牧)
- 「Inverse Perspective Project (モスクワビエンナーレ特別プログラム)」 ロシア近代史博物館 (モスクワ)
- 2016 「超克する少女たち 2」 CAS (大阪)
- 2018 「KIMIKO YOSHIDA & MASAKO YASUKI」 RuArts Gallery (モスクワ)
- 2019 「未景展」 泉涌寺 (京都)
- 2021 「国宝のある芸術祭 2021」 総本山仁和寺 (京都)
- 2022 「きがふれて vol.2 - Mad for Trees」 ギャラリー16 (京都)
- 「京都場 5周年展」 京都場 (京都)
- 2022 「Seika Artist File #1 ゆらめくいきものたち」 京都精華大学 Gallery Terra-S (京都)
- 2023 「絵画：想起のかたち (佐川晃司 x 安喜万佐子)」 奈義町現代美術館 (奈義町)
- 2024 「Floating World」 White Conduit Project (ロンドン)

### アーティスト・イン・レジデンス

- 2001 エジンバラ芸術大学 (英国) ゲストアーティスト (ART-EX・大阪府芸術家派遣事業)

2004 アーモスト大学 (米国) ゲストアーティスト  
2020 ロンドン芸術大学 (英国) ゲストアーティスト

### 作品収蔵

スミスカレッジ美術館 (米国・ノーサンプトン)  
大分県立美術館 (利岡コレクション)

\*\*\*

お問い合わせ：HRD FINE ART  
(エイチアールディー・ファインアート)

住所：〒602-0896 京都市上京区上御霊壱町494-1  
電話：090-9015-6087 (担当：原田)  
ウェブ：<http://www.hrdfineart.com>  
Eメール [info@hrdfineart.com](mailto:info@hrdfineart.com)

